



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年2月7日

上場会社名 株式会社 平賀 上場取引所 東  
コード番号 7863 URL <https://www.pp-hiraga.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中前 圭司  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役後方部門統括 (氏名) 上出 真太郎 TEL (03)3991-4541  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の業績 (2024年4月1日~2024年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	7,625	0.9	378	△6.1	435	△5.6	296	△5.3
2024年3月期第3四半期	7,557	10.3	402	4.0	461	4.9	313	△6.1

  

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	103.00	—
2024年3月期第3四半期	108.55	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	7,496	4,159	55.5	1,445.78
2024年3月期	7,984	4,138	51.8	1,436.46

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 4,159百万円 2024年3月期 4,138百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の業績予想 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,300	3.5	500	1.1	570	0.8	400	△29.2	138.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	4,015,585株	2024年3月期	4,015,585株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	1,138,607株	2024年3月期	1,134,381株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	2,878,803株	2024年3月期3Q	2,885,097株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料（決算説明資料）の入手方法）

決算補足説明資料（決算説明資料）は、2025年2月7日（金）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予想情報に関する説明	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第3四半期累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) キャッシュ・フロー計算書に関する注記	8
(7) 重要な後発事象	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、所得環境の改善により緩やかに回復基調を示す一方で、株価・為替の急変や地政学的リスクの高まりが懸念されるなど先行きが不透明な状況が続いています。

当社の主要顧客である小売業界では、インバウンド需要拡大の一方で、仕入れ価格の高騰や労働力不足が経営を圧迫しております。また、実質賃金の伸び悩みを受け、日常生活における節約志向が強まる状況が続いています。しかし同時に、高付加価値商品やサービスへの支出が見られ、個人消費は二極化しています。

当社の事業領域である販促業界では、消費者の購買動機の多様化を背景に、広告・販促手法の見直しが進みました。また印刷業界では紙媒体減少と原材料高騰により需要縮小が加速しています。

当社はこのような状況のもと、Vision2030「販促のあらゆる不満や不便、不足を解消し、小売の課題解決が日本一得意な会社へ」の実現に向けたステップとなる中期経営計画SPX2027(2025年3月期～2027年3月期)を策定しました。この計画では、当社の強みである小売への深い知見、顧客と共に進む伴走力、具体的な成果を出す実行力を基に、質と量の両面で成長を図り、企業価値を高めていくことで、持続的な成長を目指しています。

営業面においては、小売顧客のコンペティションへの積極的な参加で、複数の大型受注を獲得することに成功しております。その中でも、デジタル技術を活用した店舗のポテンシャル分析や、付加価値を訴求するプロモーション提案の需要が急速に拡大しており、これらを確実に売上へと結びつける体制を整えてきました。さらに、当社で開発したデジタルチラシへの反響も大きく、試験的に導入したクライアントの多くが、本格的な導入を検討しています。今後は、クライアントの予算編成のタイミングを的確に捉え、確実に受注につなげるよう注力してまいります。

生産面においては、新規投資や生産性改善により内製化が進み、埼玉工場(1964年9月稼働開始)の歴史で過去最高の印刷枚数を記録しました。しかし、年末年始の印刷受注数が想定を超える中、委託先での印刷量を確保するために印刷効率の高い印刷を外部委託し、高コストで非効率な印刷を自社で請け負うことで、利益が圧迫されるなど、印刷工程の管理において課題が残る結果となりました。

人材面では、採用と教育に計画的に取り組んでいます。2025年4月の新卒者は、前期を大幅に超える内定が進んでいます。また、外国からの技能実習生の採用も行っており、埼玉工場の印刷課では現在6名の方が活躍しています。

以上の結果から、当第3四半期累計期間の業績は、営業面では複数の大型受注を獲得するも、売上高への貢献は来期以降が中心となることに加え、一部顧客の販促予算の縮小による売上減の影響もあり、売上高は76億25百万円(前年同四半期比0.9%増)、経費面では今後の成長を見込み、人材採用や教育を強化したことにより販管費や新規投資の償却費が増加し、加えて次年度の新規受注確定分に対応した事前コストの影響もあり、営業利益は3億78百万円(前年同四半期比6.1%減)、経常利益は4億35百万円(前年同四半期比5.6%減)、四半期純利益は2億96百万円(前年同四半期比5.3%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産・負債及び純資産の状況

##### (流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、42億29百万円(前事業年度末は44億29百万円)となり、前事業年度末と比べ1億99百万円減少いたしました。その主な要因といたしましては、受取手形、売掛金及び契約資産が56百万円、その他に含まれている前払費用が18百万円増加したものの、現金及び預金が2億79百万円、未収入金が18百万円減少したことによるものであります。

##### (固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、32億67百万円(前事業年度末は35億55百万円)となり、前事業年度末と比べ2億87百万円減少いたしました。その主な要因といたしましては、投資その他の資産のその他に含まれている繰延税金資産が35百万円増加したものの、有形固定資産が95百万円、投資有価証券が2億20百万円減少したことによるものであります。

##### (流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、26億6百万円(前事業年度末は30億72百万円)となり、前事業年度末と比べ4億65百万円減少いたしました。その主な要因といたしましては、支払手形及び買掛金が1億1百万円、その他に含まれている未払消費税等が71百万円、その他に含まれている未払費用が24百万円、その他に含まれている預り金が17百万円増加したものの、電子記録債務が30百万円、短期借入金金が50百万円、未払法

人税等が95百万円、賞与引当金が88百万円、その他に含まれている未払金が4億13百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は、7億30百万円(前事業年度末は7億73百万円)となり、前事業年度末と比べ42百万円減少いたしました。その主な要因といたしましては、長期借入金30百万円、退職給付引当金10百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、41億59百万円(前事業年度末は41億38百万円)となり、前事業年度末と比べ20百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、その他有価証券評価差額金1億60百万円減少したものの、利益剰余金1億81百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予想情報に関する説明

2025年3月期の通期の業績予想につきましては、2024年11月8日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,446,203	2,166,557
受取手形、売掛金及び契約資産	1,430,192	1,486,388
電子記録債権	49,441	53,021
商品及び製品	35,574	43,573
仕掛品	91,442	90,306
原材料及び貯蔵品	98,914	105,194
未収入金	228,351	210,316
その他	50,801	75,705
貸倒引当金	△1,609	△1,609
流動資産合計	4,429,313	4,229,454
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	333,095	340,464
土地	598,088	598,088
その他(純額)	882,342	779,383
有形固定資産合計	1,813,525	1,717,936
無形固定資産		
その他	158,514	165,180
無形固定資産合計	158,514	165,180
投資その他の資産		
投資有価証券	944,313	723,765
破産更生債権等	4,905	4,905
投資不動産(純額)	600,580	588,206
その他	38,091	72,257
貸倒引当金	△4,905	△4,905
投資その他の資産合計	1,582,985	1,384,229
固定資産合計	3,555,025	3,267,346
資産合計	7,984,339	7,496,800
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	828,526	930,439
電子記録債務	793,374	762,596
短期借入金	450,000	400,000
一年内返済予定長期借入金	40,512	40,512
未払法人税等	115,821	20,312
役員賞与引当金	22,736	15,867
賞与引当金	177,306	88,306
その他	644,058	348,598
流動負債合計	3,072,334	2,606,632
固定負債		
長期借入金	192,440	162,056
退職給付引当金	499,269	488,955
その他	81,555	79,665
固定負債合計	773,265	730,677
負債合計	3,845,599	3,337,310

(単位:千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	434,319	434,319
資本剰余金	415,947	415,947
利益剰余金	3,419,975	3,601,231
自己株式	△570,579	△570,579
株主資本合計	3,699,663	3,880,919
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	537,091	376,586
土地再評価差額金	△98,014	△98,014
評価・換算差額等合計	439,076	278,571
純資産合計	4,138,739	4,159,490
負債純資産合計	7,984,339	7,496,800



(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	7,557,748	7,625,578
売上原価	5,965,258	6,064,850
売上総利益	1,592,490	1,560,728
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	427,630	446,707
賞与引当金繰入額	33,870	34,450
退職給付費用	9,350	9,665
役員賞与引当金繰入額	13,973	13,758
その他	704,808	677,790
販売費及び一般管理費合計	1,189,632	1,182,371
営業利益	402,857	378,356
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	18,419	18,882
受取家賃	7,837	7,785
作業くず売却益	13,940	14,977
不動産賃貸収入	31,500	31,500
その他	7,905	4,873
営業外収益合計	79,603	78,019
営業外費用		
支払利息	4,314	4,451
不動産賃貸原価	14,810	15,116
その他	1,639	861
営業外費用合計	20,763	20,429
経常利益	461,697	435,946
特別利益		
投資有価証券売却益	181	-
特別利益合計	181	-
特別損失		
固定資産売却損	2	-
固定資産除却損	2,225	0
特別損失合計	2,228	0
税引前四半期純利益	459,650	435,946
法人税、住民税及び事業税	122,552	104,596
法人税等調整額	23,920	34,845
法人税等合計	146,473	139,442
四半期純利益	313,177	296,504

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社の報告セグメントは単一であり、報告セグメントの記載を省略しております。

(6) キャッシュ・フロー計算書に関する注記

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	141,294千円	220,305千円

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

以上